

# 関東医学哲学・倫理学会

## 6月例会のご案内

関東医学哲学・倫理学会では、月例会を開催しております。今年度の年間テーマを「ヴァルネラブルな (vulnerable:弱き) 存在としての人間」と設定し、思想や倫理に関わるテーマはもちろんのこと、医療にまつわる諸問題や臨床現場での課題等、各分野の専門家による幅広い発表や議論が行われています。ご関心・ご興味がございましたら、どなたでも聴講自由です(参加費 300 円)。今回は、蔵田伸雄先生を発表者にお迎えし、ナラティブや対話という観点を踏まえて、「人生の意味」というカテゴリーの生命倫理における有効性について御発表頂きます。

**発表者：** 蔵田伸雄 先生 (北海道大学)

**演題：** 「人生の意味」というカテゴリーと生命倫理

**司会者：** 江黒忠彦 先生 (元 帝京平成大学教授)

**日時：** 6/16 (土) 15:00~18:00

**会場：** 東洋大学 白山校舎 6217 教室 (6号館2階)

(詳細は右の東洋大学HP交通アクセス地図を参照) <http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>

### 発表要旨：

「人生の意味」というカテゴリーは「幸福」「正しさ」「利益」等とは異なるものであり、生命倫理の領域でも使用可能である。だが「意味ある meaningful 生」というカテゴリーは、濫用される可能性があり、患者本人の視点から考えるべき「人生の意味」が、他者によって判断され、患者の安易な治療停止や不開始、医師による自殺補助に結びつく可能性や、患者自身が、自分の生を「生きるに値しない」と考える危険性がある。本発表ではそのような危険性に留意しつつ、「人生の意味」というカテゴリーの生命倫理における有効性について検討したい。